

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は、2013年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練 習

事故防止の観点から競技役員の指示に従い、十分に注意をして練習すること。

①練習は、原則、補助競技場を利用すること。補助競技場での投てき練習は、禁止する。

②主競技場は、3日間とも最初の種目の競技開始20分前まで開放する。

③競技開始前の主競技場での練習は、次の通りレーンを区別して行うこと。

- ・1～2レーン…ジョギング
- ・3～4レーン…中・長距離走
- ・5～6レーン…短距離走
- ・7～8レーン…ハードル走

④主競技場は、競技に支障ない範囲で開放する。その際、競技役員の指示に従うこと。

⑤主競技場での練習は、大会参加者に限る。

⑥フィールド競技の練習は、競技役員の指示に従い、招集完了時刻より練習できる。

3 競 技 場

主競技場の競走路及び助走路の舗装の厚さは、トラック13mm、フィールド15mmである。スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のスパイクのピンの長さは、12mm以下とする。

4 招 集

①招集所は、100mスタート地点後方付近に設ける。

②招集に遅れた者は、棄権とみなし出場を認めない。

③招集開始及び完了時刻は、競技日程に記載された通りとする。

④競技者は、出場種目の招集開始時刻から完了時刻までに招集所でナンバーカード、スパイクのピンの点検を受ける。

⑤2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が招集の際、招集所競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。

5 棄 権

出場種目を棄権する場合には、招集完了時刻前までに「棄権届」を招集所競技者係に提出すること。
(「棄権届」は招集所で配布する。)

6 入 退 場

役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心掛けること。

7 ナンバーカード

①ナンバーカードは胸と背に1枚ずつ確実につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。

②トラック種目では、腰ナンバー標識を右腰やや後方につけること。記録会女子3000m、男子5000mは特別ナンバーカードを使用する。(招集所で配布し、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。)

8 トラック競技の組・走路順、フィールドの試技順

①トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選し、プログラムに示す。

②トラック競技決勝の走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。

9 リレー競技

①リレー競技に出場するチームは、「リレーオーダー用紙」1部を招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係に提出すること。(リレーオーダー用紙は、招集所競技者係で配布する。)

②リレー競技においては、同一チームの競技者は、同一のユニフォームを着用すること。

10 計 時

トラック種目は、すべて写真判定(1/100秒)で行う。

11 トラック競技の決勝進出について

同タイム者については、写真を細部まで読み取り優劣を判定する。それでも、判定できない場合は、同タイム者によって抽選する。

12 跳躍種目のバーの上げ方は、次の通りである。(ただし、荒天の場合は、別途指示する。)

種 目	練 習	上 げ 方
成年男子走高跳	1m85～	1m90 1m95 2m00 2m03 2m06 2m09 2m12 以後3cm
成年女子走高跳	1m50～	1m55 1m60 1m65 1m68 1m71 1m74 1m77 以後3cm
少年女子共通棒高跳	2m20～	2m30 2m40 2m50 2m55 2m60 2m65 2m70 以後5cm
記録会男子走高跳A	1m45～	1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m73 1m76 以後3cm
記録会男子走高跳B	1m65～	1m70 1m75 1m80 1m83 1m86 1m89 1m92 以後3cm
記録会男子棒高跳	3m40・3m90～	3m50 3m70 3m80～5m00(10cm) 5m05 5m10 以後5cm
記録会女子走高跳A	1m20～	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m53 以後3cm
記録会女子走高跳B	1m35～	1m40 1m45 1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 以後3cm

第1位決定のためのバーの上下の範囲は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

13 競技用具

競技に使用する用器具は、主催者が用意する。ただし、各自の投てき器具は、検査を受け個人のものを使用してもよい。検査は競技開始時刻80分前から60分前までに器具庫で受ける。棒高跳用ポールは競技場所で跳躍審判員の検査を受ける。

14 抗議

競技規則第146条による。

15 その他 (競技方法)

①次の種目は競技運営上、2つの種別を同時に行う。

成年女子走高跳と記録会女子走高跳B	成年男子走幅跳と少年男子B走幅跳
成年女子ハンマー投と少年女子ハンマー投	

②次の種目は競技運営上、制限タイムを設ける。(残り1周通過タイム)

記録会男子5000m—19分、 記録会女子3000m—14分

③少年男子B110mHのハードルの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。

少年女子B100mHのハードルの高さは、0.762m、インターバルは8.5mとする。

少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.0kgとする。

少年女子Aハンマー投のハンマーの重さは、4.0kgとする。

④走幅跳・三段跳のピットは、トラック側をA、スタンド側をBとする。

⑤記録会の長さを競う競技の試技は、3回とする。

⑥記録会男子三段跳の踏切板は、A・B—10m、C—11m、D—13mとする。

⑦成年女子三段跳の踏切板の位置は、10m00とする。

16 注意事項

①プログラムの訂正は、できるだけ早く本部庶務係に申し出ること。

②競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置をする。

③更衣室は更衣のみに使用し、他の目的には使用しないこと。

④ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持したり、使用したりしてはいけない。

⑤貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。

⑥ゴミは持ち帰ること。ご協力ください。帰宅途中に捨てていくことはマナー違反なので厳に慎むこと。

⑦競技場の開門時間は、3日間とも7時30分(予定)とする。

(競技場の状況によっては、開門時間が早くなる場合がある。)